

令和 7 年（2025 年）12 月定例議会本会議（12 月 12 日）

環境教育常任委員長報告（所管事務調査・他都市調査）

ただいま議題となっております行政部門別常任委員会の所管事務調査について、環境教育常任委員会における調査の経過と結果を報告します。

委員会は、6 月 5 日、今年度の他都市調査のテーマについて各委員から提案を受け、協議を行いました。

その結果、9 月 8 日、今年度の他都市調査として、神奈川県伊勢原市の「教材費等学校徴収金の公会計化」について、福岡県北九州市の「博物館のリニューアル」について、及び愛知県清須市の「国の補助金を活用した学校体育館の空調設備整備事業」について、それぞれ視察することと決定し、10 月 21 日から 23 日までの 3 日間で視察を行いました。

また、これを受け、12 月 4 日、視察した内容について委員間で意見交換を行いました。

意見交換の主な内容を申し上げますと、まず、伊勢原市における「教材費等学校徴収金の公会計化」については、「教員の働き方改革の推進、保護者の利便性の向上を図るため、学校給食費と教材費

等の学校徴収金において公会計が導入され、その手法を学べたことや運用の課題を把握できたことが大変参考になった」という意見があり、また、「この公会計の導入や運用については、年度末における精算や人員の確保など様々な課題はあるものの、働き方改革という大きな観点では、本市においても参考とすべきところがあり、将来の教材費等学校徴収金の公会計化を視野に入れて、検討を進めていく必要がある」ということで、委員の意見が一致しました。

次に、北九州市の「博物館のリニューアル」については、市立いのちのたび博物館が、２０１３年と２０２３年にリニューアルが行われており、今後本市が予定している自然・人文博物館のリニューアルを踏まえて視察を行いました。こちらについては、「市民の方々、学芸員及び博物館に関わるボランティアの方々の意見を反映した形で展示内容が工夫されていた点が大変参考になった」ということで、委員の意見が一致しました。

次に、清須市における「国の補助金を活用した学校体育館の空調設備整備事業」については、「断熱性が確保されていない体育館において整備された空調設備の効力を実感できた」という意見があり、また、「本市において学校体育館へ空調設備を円滑かつ早期に整備

するとともに、学校の統廃合も考慮した施設・設備の維持管理を行っていくことが重要である」ということで、委員の意見が一致しました。これについては、「委員会として執行部に希望意見を付したい」という提案があり、協議を行った結果、提案のとおり決定しました。

最後に、今回の所管事務調査の結果、本委員会としてまとまりました希望意見を申し上げ、本調査を終了します。

- ・ 学校体育館への空調設備整備を進めるに当たり、市は円滑かつ早期の整備に努めるとともに、施設や設備の維持管理を行っていく際には学校の統廃合も考慮されたい。

以上で報告を終わります。